



2021年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月11日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 2020年12月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第3四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	1,671	49.6	166		301		390	
2020年1月期第3四半期	3,314	23.5	315		179		123	

(注) 包括利益 2021年1月期第3四半期 394百万円 (%) 2020年1月期第3四半期 116百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	45.15	
2020年1月期第3四半期	14.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	7,427	2,613	35.2
2020年1月期	9,338	3,087	33.1

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 2,613百万円 2020年1月期 3,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		0.00		10.00	10.00
2021年1月期		0.00			
2021年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,825	28.1	14		101		192		22.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期3Q	11,096,000 株	2020年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2021年1月期3Q	2,444,907 株	2020年1月期	2,444,872 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期3Q	8,651,111 株	2020年1月期3Q	8,651,128 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。持ち直しの動きがみられます。世界経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、同様に厳しい状況にあります。中国や台湾では景気は持ち直しており、アメリカおよびユーロ圏においても持ち直しの動きがみられます。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましても、新型コロナウイルス感染症が流行するなか、在宅で過ごす時間が増えたことにより、任天堂の「あつまれどうぶつの森」などのゲームコンテンツの売上が引き続き好調な動きをみせています。また、11月には次世代機であるプレイステーション5やXbox Series X|Sが発売され、話題となっています。

このような状況のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、アクションゲーム「ま〜るい地球が四角くなった!? デジボク地球防衛軍 EARTH DEFENSE FORCE: WORLD BROTHERS」(プレイステーション4・ニンテンドースイッチ用)が12月24日に発売されることが発表されています。自社コンテンツの「AR performers」では、8月15、16日に「アニメ ARP Backstage Pass 後夜祭 "Celebrate Good Time" -EXTEND-」がオンラインで開催されました。また、7月より開始されたレギュラーラジオ「Amazing Radio Performers on the WEB」のサブスクリプション配信も継続され好評を博しています。

新規案件につきましては、新進気鋭の米国プロレス団体である「All Elite Wrestling」(略称「AEW」)から、同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発受託をいたしました。当社は、次期主力プロジェクトにすべく、プロレスゲームとして世界最高のチームを編成し、世界に衝撃を与えるプロレスゲーム開発を行ってまいります。

その他、ゲームソフト分野、パチンコ・パチスロ分野、モバイルコンテンツ分野ともに複数のプロジェクトの開発が進んでおります。

当社グループ全体で企業価値向上に向けた収益力強化と体質改善を目的として、期初より実施中の構造改革につきましては、不採算事業の廃止、海外拠点の見直し、経費削減、原価率改善のための稼働率の向上、当社の強みを生かした開発プロジェクトの推進、プロジェクト毎の収益責任の明確化等を全て実行に移しております。

さらに、より機動的にプロジェクト開発を行う体制にするため、9月1日から開発部を大阪CS事業部・横浜CS事業部・プレミア事業部の3事業部に編成し、機動的な事業展開、効率的な人員配置による稼働率の向上、収益責任の明確化をより一層推進しております。

第2四半期連結累計期間までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の業績予想を下回りましたが、当第3四半期におきましては、上記の構造改革の効果もあり、業績は回復してきております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,671百万円(前年同期比50%減)、経常損失は301百万円(前年同期は経常損失179百万円)、企業価値向上に向けた収益力の強化と体質改善を目的として、構造改革を実施した結果、構造改革費用として特別損失89百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は390百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失123百万円)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,911百万円減少し7,427百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少2,162百万円、売掛金の増加146百万円、仕掛品の増加150百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,436百万円減少し4,814百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の減少1,550百万円、前受金の増加160百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して474百万円減少し2,613百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失390百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日発表いたしました「特別損失(構造改革費用)の計上および業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,070,248	5,907,989
売掛金	116,193	262,717
商品	4,731	4,393
仕掛品	352,628	503,055
その他	96,379	72,766
貸倒引当金	△207	△74
流動資産合計	8,639,975	6,750,848
固定資産		
有形固定資産	40,508	37,220
無形固定資産	17,057	13,915
投資その他の資産	642,160	626,534
貸倒引当金	△1,209	△1,209
固定資産合計	698,515	676,461
資産合計	9,338,490	7,427,310
負債の部		
流動負債		
買掛金	77	80
短期借入金	5,500,000	3,950,000
未払金	191,723	242,094
前受金	133,288	293,700
賞与引当金	78,626	100,649
その他	166,981	46,842
流動負債合計	6,070,697	4,633,366
固定負債		
長期末払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	102,137	103,712
繰延税金負債	15,481	14,535
その他	250	250
固定負債合計	180,068	180,698
負債合計	6,250,765	4,814,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	2,943,914	2,466,812
自己株式	△738,303	△738,320
株主資本合計	3,050,730	2,573,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,612	33,437
為替換算調整勘定	1,382	△805
その他の包括利益累計額合計	36,994	32,631
新株予約権	-	7,001
純資産合計	3,087,724	2,613,245
負債純資産合計	9,338,490	7,427,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	3,314,380	1,671,210
売上原価	3,079,053	1,359,963
売上総利益	235,327	311,246
販売費及び一般管理費	550,452	477,827
営業損失(△)	△315,125	△166,580
営業外収益		
受取利息	143,116	34,135
受取配当金	787	824
助成金収入	-	11,740
その他	3,347	3,572
営業外収益合計	147,251	50,272
営業外費用		
支払利息	3,268	2,840
為替差損	8,548	174,571
その他	126	7,975
営業外費用合計	11,943	185,386
経常損失(△)	△179,818	△301,694
特別利益		
固定資産売却益	-	749
特別利益合計	-	749
特別損失		
構造改革費用	-	89,610
特別損失	-	89,610
税金等調整前四半期純損失(△)	△179,818	△390,554
法人税等	△56,439	35
四半期純損失(△)	△123,378	△390,589
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,378	△390,589

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純損失(△)	△123,378	△390,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,874	△2,175
為替換算調整勘定	△82	△2,187
その他の包括利益合計	6,791	△4,363
四半期包括利益	△116,586	△394,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△116,586	△394,953
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)および当第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。